

審査から

令和元年度決算（一般会計・特別会計） ・令和元年度病院事業会計決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月9日・10日・16日に議案6件、認定2件の審査を行いました。

町田市民病院使用条例の一部を改正する条例
 無痛分娩の加算の新設及び受益者負担適正化の観点から、市民病院駐車場の駐車料金を改定し、

委員 通常、市民病院で行われる普通の分娩の費用はどれぐらいなのか。

医事課長 通常の当院での出産の費用ですが、70万円前後です。

委員 無痛分娩を選択すると78万4千円という費用が必要になると受け止めた。麻酔医師の人工費プラス麻酔薬とということ、この8万4千円という金額について、適切な金額なのか教えてもらいたい。

医事課長 近隣の病院を参考にし、麻酔科医が硬膜外麻酔をかける場合、12万円から15万円かかっているの、そ

町田市民病院使用条例の一部を改正する条例
 無痛分娩の加算の新設及び受益者負担適正化の観点から、市民病院駐車場の駐車料金を改定し、

委員 通常、市民病院で行われる普通の分娩の費用はどれぐらいなのか。

医事課長 通常の当院での出産の費用ですが、70万円前後です。

委員 無痛分娩を選択すると78万4千円という費用が必要になると受け止めた。麻酔医師の人工費プラス麻酔薬とということ、この8万4千円という金額について、適切な金額なのか教えてもらいたい。

医事課長 近隣の病院を参考にし、麻酔科医が硬膜外麻酔をかける場合、12万円から15万円かかっているの、そ

れよりは低い金額に抑えて、選択しやすいように考えています。この金額が高いか低いかについては、麻酔科医が関わらなければいけないことを鑑みますと、この程度を頂かないと、実施が難しいと判断をさせていただきます。

委員 駐車場の件で、30分超え4時間までの時間が百円増額ということ、どのぐらい年間として駐車場利用の収入がアップするのか。

施設年度課長 昨年度実績で、駐車料金が年間約2千万円ありました。今回2百円というところで、収入も2倍の4千万円近くになると想定しています。

委員 受益者は、どういう方を想定しているのか。

施設年度課長 基本的には市民病院を受診される方を想定しています。

れよりは低い金額に抑えて、選択しやすいように考えています。この金額が高いか低いかについては、麻酔科医が関わらなければいけないことを鑑みますと、この程度を頂かないと、実施が難しいと判断をさせていただきます。

委員 駐車場の件で、30分超え4時間までの時間が百円増額ということ、どのぐらい年間として駐車場利用の収入がアップするのか。

施設年度課長 昨年度実績で、駐車料金が年間約2千万円ありました。今回2百円というところで、収入も2倍の4千万円近くになると想定しています。

委員 受益者は、どういう方を想定しているのか。

施設年度課長 基本的には市民病院を受診される方を想定しています。

総務

9月9日・10日・16日に議案7件、認定1件の審査を行いました。

町田市手数料条例等の一部を改正する条例
 コンビニでの証明書自動交付サービス利用時の手数料減額期間を延長し、

委員 2年延長、減額の特例措置を行う理由と利用の見込み件数、それと、特例措置を行うことによる効果は。

マイナンバー担当課長 理由は2点です。マイナンバーカードについて、国から令和4年度末までにほとんどの住民がカードを保有するという想定が示されており、市としても、さらなるカードの取得促進を図る必要があるところ、コンビニ交付手数料の減額を継続することで、カード取得のメリットの1つとなると考えている点が1点目です。2点目は、新型コロナウイルス感染拡大防

町田市手数料条例等の一部を改正する条例
 コンビニでの証明書自動交付サービス利用時の手数料減額期間を延長し、

委員 2年延長、減額の特例措置を行う理由と利用の見込み件数、それと、特例措置を行うことによる効果は。

マイナンバー担当課長 理由は2点です。マイナンバーカードについて、国から令和4年度末までにほとんどの住民がカードを保有するという想定が示されており、市としても、さらなるカードの取得促進を図る必要があるところ、コンビニ交付手数料の減額を継続することで、カード取得のメリットの1つとなると考えている点が1点目です。2点目は、新型コロナウイルス感染拡大防

止策の1つとして、来庁が不要なコンビニ交付を周知させていただいたところ、20年4月のコンビニ交付率が11・9%、5月は12%となりまして、19年度の7・9%と比べて大幅に増加しました。できるだけ身近な場所で証明書を取得したいという考えが市民の方々にあると考えられることから、この機会にさらにコンビニ交付の利用促進を図る必要があると考えたからです。次に、見込み件数ですが、昨年度、コンビニ交付枚数は3万5千件程度でしたが、今年に5千件程度増え、今年に交付は、現時点で13%ほど交付があり、4万5千件ほどを見込んでいます。来年、21年度には5万5千件程度、22年度には6万3千件程度の交付を見込んでいます。効果については、先ほどの理由のとおりです。

止策の1つとして、来庁が不要なコンビニ交付を周知させていただいたところ、20年4月のコンビニ交付率が11・9%、5月は12%となりまして、19年度の7・9%と比べて大幅に増加しました。できるだけ身近な場所で証明書を取得したいという考えが市民の方々にあると考えられることから、この機会にさらにコンビニ交付の利用促進を図る必要があると考えたからです。次に、見込み件数ですが、昨年度、コンビニ交付枚数は3万5千件程度でしたが、今年に5千件程度増え、今年に交付は、現時点で13%ほど交付があり、4万5千件ほどを見込んでいます。来年、21年度には5万5千件程度、22年度には6万3千件程度の交付を見込んでいます。効果については、先ほどの理由のとおりです。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- ・成年後見人の需要が高まり、成年後見人等報酬費が増加している。需要に合わせて、予算を確保するよう努められたい。
- ・福祉輸送サービス事業について、ニーズは高まっているものの、共同配車センター事業の運行回数が減少している。安定的にサービスを供給するため、車両・運転手を確保するとともに、安全確保のための機器導入を早期に進められたい。
- ・民生児童委員選出に当たっては、地域内にある福祉施設などの職員等、選考対象を幅広く検討されたい。
- ・ひかり療育園は、民間活力導入に当たり、これまでをしっかりと総括し、利用者・家族そして地域へのより丁寧な説明をし、民間の新しい提案や事業も取り入れ、サービス水準の維持・向上を目指されたい。
- ・いきいき生活部が管理する各施設においては、電気及びガスが自由化されたことに伴い、それへの速やかな対応を求めよう。
- ・高齢者の単身世帯化、生活困窮化の社会状況に対し、生活支援、見守り等を多職種、地域などとの連携も図り、早急に対応を検討し、取組に努められたい。
- ・がん検診の受診率のさらなる向上はもとより、受診後のフォローについても強化されたい。
- ・産後ケアについては、上のお子さんがいても利用できるよう、ショートステイとの連携を強化し、市民に対し分かりやすく案内されたい。
- ・出産育児一時金の金額については、現状の出産費用を調査し、実態に合わせて引上げを検討されたい。
- ・認知症施策や認知症サポーター養成、「まちだ互近助クラブ」の支援等、市民が集まる施策は、新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、様々な方策を使って、遅滞なく進められたい。
- ・後期高齢者医療事業会計において、ジェネリック医薬品のさらなる使用促進に努められたい。

【認定第2号】
 ・さらなる増収努力を行い、安定的な病院運営に努められたい。
 ・医療職員の離職をなるべく防ぐため、職場環境や給与、研修などの雇用条件の改善に努められたい。

など計84件の意見を附帯決議として付しました。

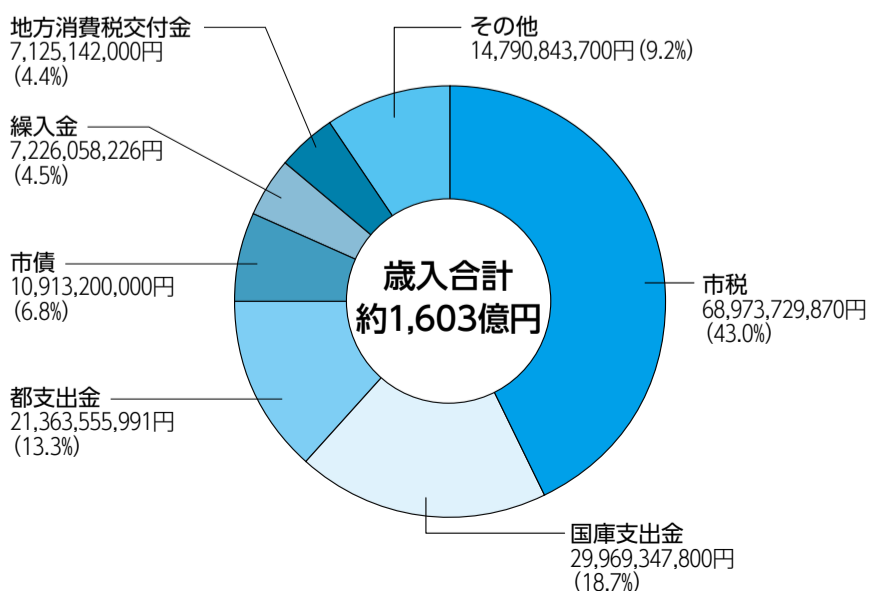
決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- ・職員のメンタル疾患を減らすためにも、復職支援や再発防止支援を全庁で取り組み、組織的なケア体制の構築に努められたい。
- ・新たな職員採用試験（SPI）の導入により、民間企業を希望する人材のかけもち受験が増加しているが、公務労働の役割を理解した求められる人材の確保に努められたい。
- ・人材育成については、自治体間交流でリーダーシップをとれる職員の育成を目指し、更なる充実を図られたい。
- ・入札における契約（工事請負・物品購入）について、市内事業者への発注が増えるよう努められたい。特に、物品購入契約の受注率については、改善が必要だ。
- ・シティプロモーション事業については、費用対効果がわかる評価を取り入れられたい。
- ・業務主管課と連携しデジタル化を進めるとともに、引き続きAI・RPA等の導入を積極的に推進し、一層の業務効率を進められたい。
- ・ふるさと納税については、市民税控除額と町田市への寄附額の差額が開かぬよう、町田市内・市外からの寄附額を増やす方策を講じられたい。
- ・市保有車両にあっては、早急にドライブレコーダーの普及率を100%にされたい。
- ・自治体間ベンチマーキングの取組を積極的に推進し、業務コスト及び事務処理工程の改善を一層進められたい。
- ・収納率向上に向け、今現在の手法以外にも納税しやすい様々な方策を新たに構築されたい。
- ・SNS発信、ロケの誘致など、市内外に北部丘陵の魅力を発信する取組を実施されたい。
- ・ふるさと農具館と七国山ファーマーズセンターについては、老朽化が著しい。新たな可能性を探り、地域の声を聴き魅力的な地域づくりを目指されたい。
- ・コロナ禍による個人事業主・中小企業への打撃は、筆舌にし難い。町田市新産業創造センター入居企業の不安や至難に対し、真摯に対応されたい。
- ・ターミナルプラザ、とりわけ市民広場の活性化に向け努力されたい。

など計61件の意見を附帯決議として付しました。

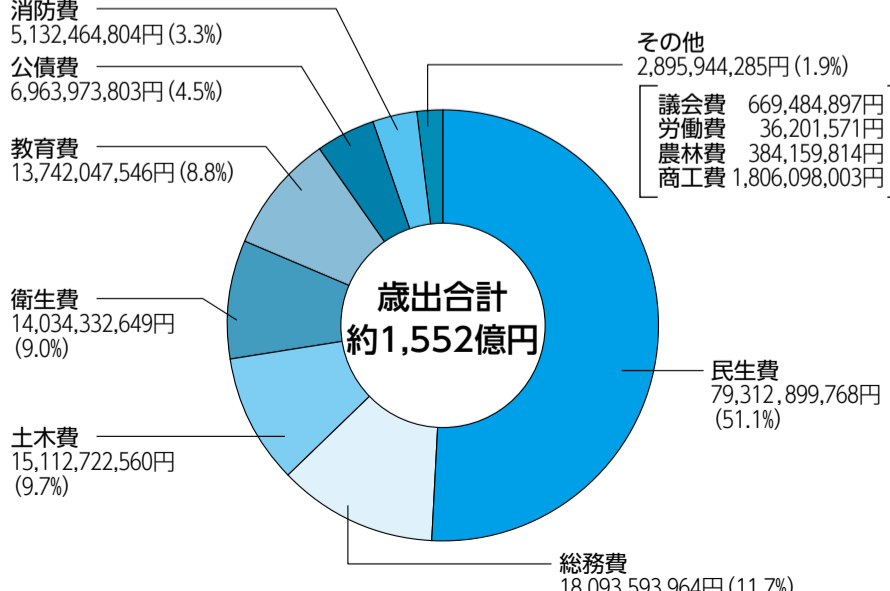
令和元年度 歳入決算額の内訳（一般会計）

歳入合計額
160,361,877,587円



令和元年度 歳出決算額の内訳（一般会計）

歳出合計額
155,287,979,379円



議会費 669,484,897円
 労働費 36,201,571円
 農林費 384,159,814円
 商工費 1,806,098,003円